



# 東京金山会通信 No.35

東京金山会 広報担当 (藤山善夫)  
☎080-5525-0435  
✉fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

東京は、時折雪が舞うような一番寒い時期を過ぎ、少しずつ春の足音も、近づきつつあるように思える季節となりました。金山の雪も少し溶けはじめる頃でしょうか。

2022年2月6日に役員会を開催しました。今回は、総会に向けた各種手配を、各役員がそれぞれで推進出来るよう、役割分担の確認・調整を行ないました。今後は、進捗のすり合わせや確認をより綿密に行ない、総会へ向けてさらに準備を進めてまいります。

## 「東京金山コラム」Vol.14「鎌倉」

2022年のNHK大河ドラマの舞台となっている鎌倉。源頼朝や北条政子・義時ゆかりの地。東京からは1時間ほどで通勤圏内でもあり、休日には散策に訪れる観光客であふれます。この鎌倉の街は、鶴岡八幡宮から美しい砂浜が広がる由比ガ浜まで一直線に若宮大路が走り、そこを中心に街並みが創られていきました。名所・見どころ多数、1日では回りきるのが難しいくらいですが、また安心して旅行に出られるようになりましたら、訪れてみてはいかがでしょうか。



東京金山会事務所の最寄り・JR西日暮里駅付近



鶴岡八幡宮から若宮大路 (左) 由比ガ浜海岸 (右)

## No.193 「森の子ども図書コーナー」 交流サロンぽすと内



「あいたくなっちゃったよ」  
(きむらゆういち/作 竹内通雅/絵 ポプラ社)

山猫は家に帰るところだった。可愛い坊やの顔を思い浮かべ、「いつも俺のことを『父ちゃんってすげえよね』って言うんだよね」  
山猫が岩場を通ったとき、子ネズミが岩の陰に隠れたつもりで張り付いている。「もし、お前が僕を食べようとしたら、僕の父ちゃんがお前を許さないぞ」そのとき、岩が崩れて、穴からよれよれのネズミが現れた。  
怯えながらも息子を守ろうとするお父さんネズミを見て、山猫の気持ちはだんだん変わっていきます。大迫力の「お父さん絵本」誕生！

## 「図書室だより」 中央公民館内 9:00 ▶ 16:00



「ミカエルの鼓動」  
(柚月裕子/文藝春秋)

手術支援ロボット「ミカエル」を推進する心臓外科医・西條と、ドイツ帰りの天才医師・真木。難病の少年の治療をめぐる二人は対立。そんな中、西條を慕っていた若手医師が、自らの命を絶った。ある情報を手に入れたジャーナリストは、大学病院の闇に迫る。



「板目・柱目・木口がわかる木の図鑑」  
(西川栄明/創元社)

色味や木目がわかる平板の木材見本のほか、丸太を輪切りにした木口面の原寸大写真や樹皮の様子まで盛り込んだこれまでにない「木のガイドブック」。日本の有用種101種を取り上げ、1つの樹種につき見開きで紹介。木を愛する人から木のプロフェッショナルまで、木材加工や材料選びにも役立つ一冊。



※( ) 内作者名

エレジーは流れない (三浦しおん)  
ブラザーズ・ブラジャー (佐原ひかり)

桜風堂夢ものがたり (村山早紀)  
キャラ絵で学ぶ! 豊臣秀吉図鑑 (いとうみつる)

今月は4冊!

## 地域おこし協力隊 通信 No.7 隊員 本間 真生

### 金山の冬スポーツ、クロスカントリースキー

こんにちは、協力隊の本間です。今年が雪がよく降るねとご近所さんとお話をしています。毎日の雪かきと、お天道様もなかなか拝めず、ずーんと重く暗い気持ちになり、雪の時期が大変だとはこのことかと。そんななか、最近ハマっていることが「クロスカントリースキー」です！  
金山健康ふれあいスポーツクラブさんが金山小学校で行っている「木曜どうでしょう」で、金山小の児童と初めてクロカンスキーを体験しました。平地や登りもスイスイ進めるこれはなんだ！と驚きました。スポーツにもまげていただき、練習しています。人生で2回目のスポ少です。まさか、22歳になりまたスポ少で何かに熱中できるとは！  
新しいことに挑戦することもワクワクするし、少しでも上手に滑れたら嬉しい気持ちでいっぱいです。小学生と一緒にやっている、転んでなんぼ！転んだ分だけ上手になると感じま



1・2年生とクロカンスキーの履き方から学びました

す。心のどこかで、転ぶことは恥ずかしいから転ばないように...としている自分にはっとしました。その意識を無くすのはなかなか難しいですが、小学生と練習して、いっぱい転んで上手になりたいです。仕事も転ぶことを恐れずに、来年度も色々挑戦していきます。いろんな学びと楽しさを感じさせてくれるクロカンスキーと皆さんに感謝です！



Facebookで活動を発信しています！ぜひチェックしてください！

## ふんばい

### 金山杉俳句会報 第四六〇回

星川 キエ子  
屠蘇受けてあとは手酌の座も和む  
饒舌になりゆく小川二月尽

岸 昭子  
空青く陽の射すベンチ春立ちぬ  
子供から何やら香るお年玉

高橋 洋子  
朝日受け霧氷輝く雑木林  
柔らかな日差しに芽吹くさくら草

鶴沼 よし子  
寒月光薄くれないの雲纏ひ  
臥す夫を恵方に向けて美酒を酌む

阿部 一代  
今日の陽をにがす手なしの日向ぼこ  
初市の白飴口はほの甘き

栗田 弥超  
明六つの帳を開く雪ばんば  
寒燈の空澄み渡る夜の静寂

### かねやま紅風会

荒屋 阿部 勝子  
雪時雨夫の想ひ出夢の跡  
稔りくる果樹の選定春を待つ  
訃報記しコロナ悔しき雪しまき

菅 越 庄司 けみ子  
地表まで子等の危うい軒水柱  
寒の雷一声高く明日の空  
日脚伸び子等の歓声まだ聞こゆ

七日町 青柳 キエ子  
悲しみの癒える日いつぞ松明ける  
箱根路に駆ける青春雪催  
寂しさや寒九の雨のひたひたと

七日町 柴田 静栖  
幸あれと願ひて飾る初暦  
雪の華舞ひて鈴なり地藏尊

上台 阿部 一步  
廃屋の崩れ母屋に雪の高  
峠越雪の回廊尾花沢  
節分や孫には弱い頑固爺